

継続事業評価シート

評価実施日 令和2年3月31日

令和元年度(3年目)

事業コード	5	事業名	創業・新分野進出支援事業			戦略コード	1	戦略名	育て・挑戦を支える商工会		
担当部名	企業振興部	担当課名	経営支援課	担当課長名	佐々木隆太	施策コード	3	施策名	新たな可能性にチャレンジする創業・新分野進出の推進		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

商工会地域では、少子高齢化や人口減少、マーケットの縮小による事業者の減少に歯止めがかからず、創業支援や新分野進出等の支援による地域経済の維持が求められている。

2. 事業のねらい

創業や新分野進出を一層促進し、地域に新たな活力を創出していくため、新たな可能性にチャレンジする創業者・事業者に対し、これまでの取組を更に強化する。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	-	H30	B	R1		R2
-----	-----	---	-----	---	----	--	----

創業希望者への情報提供や計画策定支援が的確に行われており、創業実現につながっている。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

国並びに県の施策情報の提供と更新を随時行い、商工会支援部の各センターによる個別具体的な個社支援と併せて、施策の活用による円滑な創業実現の増大に取り組む。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
11	創業支援、新分野進出等への提案	指導員1人1件以上を目標として、金融支援や補助金活用につなげている。創業計画作成支援211件。	a	a	a	A
12	創業の推進	創業計画の確実な実行支援により、創業実現108件の実績につなげた。	a	a	a	A
13	新分野進出等新たな取組への推進	経営革新計画承認、経営力向上計画認定など、87件の新たな取組を支援した。	a	a	a	A

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	12					取組コード	12					取組コード	13				
指標名	創業支援件数					指標名	創業件数					指標名	新分野等への取組件数				
年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3	年度	H29	H30	R1	R2	R3
目標	100件	110件	110件	120件	120件	目標	20件	22件	33件	48件	60件	目標	50件	60件	70件	80件	100件
実績	245件	126件	211件			実績	91件	90件	108件			実績	34件	94件	87件		
達成率	245%	115%	192%			達成率	455%	409%	327%			達成率	68%	157%	124%		
達成度	a	a	a			達成度	a	a	a			達成度	c	a	a		

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 【取組評価】の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈評価の理由〉

県・市町村等と連携しながら創業塾を開催するなど、地域に新たな活力を創出していくため、事業の必要性は高い。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 【取組評価】の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

創業希望者へのきめ細かな支援により創業を実現させるなど、目標を大きく上回る成果を達成できている。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 【取組評価】の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定6割以上の場合) a

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

県や市町村の補助事業を活用する等、商工会の財政的コストの削減を行った。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(改善が必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 A

商工会に対して、支援機関として必要な国及び県等の施策情報の提供と更新を随時行っているとともに、起業支援補助金の活用を支援し、目標を上回る成果につなげることができた。

3. 課題

創業者の掘り起こしについて、一次産業者に対してもその範囲を広げていく必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

商工会加入強化ガイドラインに基づく取組とも連動し、一次産業者の事業化へも取り組んでいく。